

井奥まさきの市政ニュース

自宅 兵庫県高砂市荒井町新浜2-19-9 E-MAIL ioku3@gmail.com HP <http://ioku3.sakura.ne.jp/>
 TEL 079-444-2343 FAX 079-444-2418 2018年5月上旬号 通算122号

公共交通 無料の福祉バスと連結バスなどメリハリを効かせたバス路線を



2台のバスをつける
連結バス（新潟市）



高砂市のじょうとんバス



施設への送迎バス

	路線バス	福祉バス
料金	料金必要	施設への送迎バス (福祉バス、スクールバスなど)
届出	国へ届出必要	届出は不要
運転免許	二種（乗客を乗せるもの）	一種（普通の免許証）
対象	不特定多数	施設利用者
料金	有料（じょうとんバスは100円か200円）	無料 (料金はとれない)

車がなくても便利なまちづくりのためには公共交通網は非常に重要です。「免許返上をしようにも、車なしではあまりに不便で」との声も聞こえてきます。

平成28年（2016）2月に新路線を導入したじょうとんバスですが、「1日乗降者1人未満」という大苦戦のバス停が存在します。赤字分は黒字の「高砂駅一宝殿駅」路線でカバーし、なおかつ残る赤字を毎年約4500万円以上の市からの負担金で補っています。

私は上の表にある「無料の福祉バス」を導入し、市民病院やショッピングセンターへの送迎を強化することを提言しています。不採算路線をこれに置き換えれば市民には便利で費用も節約できます。また、逆に「高砂駅一宝殿駅」間は本数を増やしたり、時間帯も朝から晩までにすべきです。

他にも企業通勤者のためにアスパ高砂の駐車場を開放し、駐車場と企業間を2台のバスをつなぐ「連結バス」で運行すれば朝夕のラッシュが抑制されます。企業支援で市がバスを購入しても高架事業に比べてわずかな予算ですみます。

登市長は「平成33年（2021）4月まで路線は見直さない」としますが、早急に見直すべきです。



空気を運ぶような路線もあるじょうとんバス。無料の福祉バスとの棲み分けが重要（井奥）

国の史跡 石の宝殿は住民参加で大切に

観瀨処は江戸時代の巨大な石碑



浮石で有名な石の宝殿と周辺の史跡群が国指定史跡となりました。誇らしいことなのですが、またぞろ「史跡整備」という話ができています。そこに「観光振興」「神社整備」をくっつけようとするところにうさんくささを感じます。

浮石だけでなく、生石神社から歩いていける観瀨処付近は古墳時代の竜山石の切り出し跡など興味深い場所です。ところが、石碑に向かう道はボロボロです。補助金での整備ありきではなく、周辺住民にも呼びかけてみんなで保存・整備する雰囲気をつくるべき、と委員会で提言しました。



階段はボロボロ

井奥まさき 活動アルバム

井奥です



昨年7月21日に近畿の市民派議員で森友学園を視察。情報公開請求で問題を発見した木村真さん（豊中市議・緑の党サポーター）の案内でした。

市民病院

大野病院管理者と高砂市民病院のビジョンについて議論



管理者のお話（要旨）

- ・統合で500床前後の大病院が各地で出現（姫路、三田など）
- ・神戸大学も大病院への派遣で高砂市民病院まで手がまわらない
- ・高齢化している30人の医師だがみんな病院への愛着がある
- ・市民病院は高砂市にはぜひ必要、現状（市の直営）で頑張る

3月議会補正予算の質疑で大野病院事業管理者が出席されていたので、高砂市民病院のビジョンについて議論しました。加古川市民病院の開設で苦戦が続き、平成29年度も最終の3月議会で5億円の支援金投入が提案されていました。

市民病院の現状とビジョンについてうかがうと、上の要旨のような発言でした。

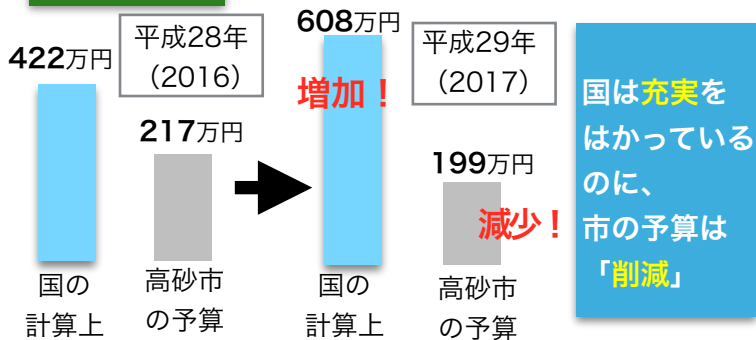
私は持論である「病院への無料バス、医学生への奨学金、病院の全面建て替え」についての考え

を聞きました。管理者からは特に病院の建て替えについて「どういう病院が必要かを考えないといけない」と回答されました。重要な論点です。

今回の診療報酬改定では400床以上の病院と200床未満の病院が有利になるようになっていきます。高砂市の許可病床数は290床。実際の稼働は130床程度です。私は全面建て替で200床未満のコンパクトな病院を新設し、大病院路線とは違うプランBをめざすべきでは、と考えます。

学校図書室

学校図書の予算充実と専門の学校司書の配置を求めました



中学校の学校図書費

国が「どこの自治体でも同じようなサービスを受けられる」といえる標準的な計算方法があります。地方交付税需要額と呼ばれています。

国は学習の拠点として学校図書費の充実を方針化しました。計算上で200万円近く増加しています。ところが、高砂市は予算で減額。小学校の図書費も同じように半分以下しか予算化していません。

また、国は1.5校に1つの学校司書（専門の職員）の配置も求めています。高砂市はゼロです。そのためか高砂市の中学校図書室は1校をのぞいて放課後は開室されません。

国の方針でいいものは積極的に取り入れるべきです。子どもたちの読書活動を支援するために、学校図書の実と学校司書の配置は急務と提言しました。

高砂市民まちづくり協議会 毎月第三土曜日14時～ユーアイ帆っとセンター

子育て日記

政治活動用の写真、まだ写ってくれました

後援会活動強化のため、リーフレットなどの政治活動用に写真撮影をしました。最初は娘が2歳の時で次は娘が小4、息子が小2。今回で3代目となります。

娘が中2になったし、もう無理かなと思っておそるおそる尋ねると「いいよ」と軽い返事。逆に小6の息子の方が「なんで撮影しなきゃいけないんだ」と当日不機嫌で困りました。

妻がカメラの後ろでいろいろ笑わせてくれたので何とかいい表情になりました。

何枚も撮影いただいた中で三人の表情がいい写真を選んだのですが、いかがでしょうか。

新リーフレットでは「さあ、みんなで高砂市

を一步前へ」をキャッチフレーズに「ヒトづくりへの投資優先」「エネルギー産業など新分野で仕事づくり」「議会も市役所も改革を」の3つの政策の柱を示しています。必要な方は連絡ください。

